

＜ 総 評 ＞

園名： 受審園：星の子保育園

| | 項目 | 評価の高いところ | 改善すべきところ |
|-----|----------------|---|---|
| I | 福祉サービスの基本方針と組織 | 児童の最善の利益を追求するために、子どもの人権を守り、個性を尊重し、主体性を重んじて愛情を持って処遇するという理念の実現に向けての方向が、明確に打ち出されていました。 | 理念や方針を利用者や職員に伝え、周知する取り組みは行われているが、今後は更に理念の持つ意味を深く理解し、保育実践の中での実現を目指して取り組んでいく 職員の力量が求められます。 |
| II | 組織の運営管理 | 業務内容別にマニュアルが整備されており、更に部門別に委員会を設置し、保護者や職員からの意見を分析、課題の解決に向けて方針を明らかにし、改善する取り組みが行われています。 また、外部監査を実施し指導を受けながら経営改善に取り組んでいます。 | 人材を育成するためには、職員が定着する職場環境があり、研修を積み重ねることが大切です。 それによって、更なる保育の質のレベルを上げることが望まれます。 |
| III | 適切な福祉サービスの実施 | 日常的に相談や苦情を受付けている窓口があることを 利用者の目につきやすく掲示しています。 地域に向けての子育て支援事業を積極的に行っています。 | 相談しやすい雰囲気をつくり、相談事業が機能することを期待します。また、食事の内容や行事など利用者の意向を取り入れたり、子どものことでの日常的な情報交換など、利用者との関係性、満足度が向上する取り組みが望まれます。 |
| IV | 実施する福祉サービスの内容 | 各マニュアルが整備されており、役割も明確で細かく配慮されています。また、保育内容委員会を設け、様々な視点から課題に対しての検討がされており、職員全体で周知し共有しようとする姿勢が見られました。 | 保育方針が保育計画に、更にその計画が実際の保育にどう生かされているかを、保育士だけではなく職員全体で研鑽していくことが望まれます。 また、一人ひとりが集団の中で個性を発揮し、大切にされていることを実感できるような保育内容が求められます。 |
| | 総合所見 | 評価を通して職員の意識の高さや、まとまりが確認できました。 更に保育理念、保育方針など明文化したものを、利用者や職員が理解、周知、実感できるような保育内容。 また、地域性も生かした園独自の保育計画を作成するなど、保育の質を高めていく取り組みを期待します。 | |